

三雲地区でのH26年度までのこれまでの取り組み概要

- 自主防災組織活動マニュアルの策定
- 三雲地区版洪水ハザードマップの作成、全戸配布
- 自主防災組織活動マニュアルに基づく図上訓練、避難訓練の実施

住民・地域・行政が各々の立場でやるべきことを理解した上で、**地域主導WGという形で地域防災への取り組みができた。**

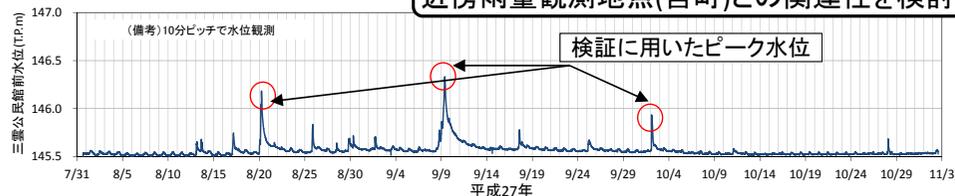
三雲地区でのH26年時点の課題と今後の展開

- 地域の防災意識を高め、後世にも伝えていくための工夫が必要である。
 - ⇒例えば「**地域で決めた避難判断基準**」を荒川沿川に設置したり、洪水時に想定される浸水深を地域に明示する等、地域の知恵や水害リスクの見える化を図っていく。
- 洪水到達時間の短い荒川(流域面積約10km²)では、**水位による避難判断基準が困難**となっており、地域も悩んでいる。
 - ⇒上流の雨量観測所データを用いた**雨量～水位関係について検討**する。
 - ⇒洪水時監視箇所**に簡易水位計を設置し、データ分析のためのデータ蓄積を開始**する。

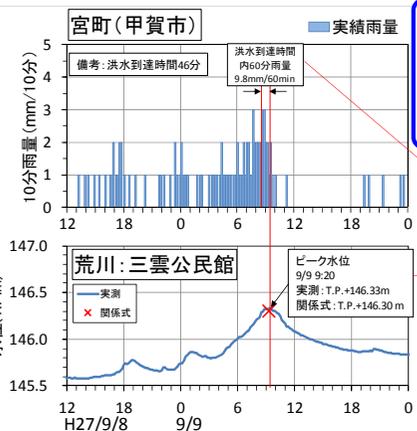
三雲地区でのH27年度の取り組み状況1

雨量と水位の観測

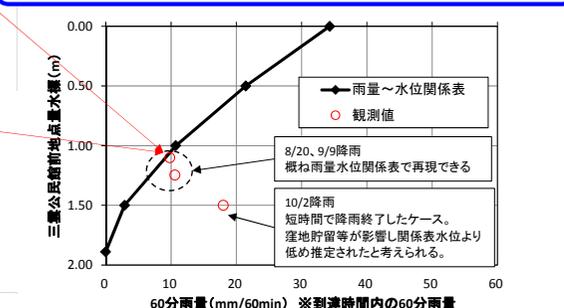
三雲公民館前で水位連続観測を行い、近傍雨量観測地点(宮町)との関連性を検討。



【三雲公民館前水位観測結果 (H27/7/31～11/2)】



合理式による降雨強度～流量関係と、三雲公民館前の河川断面での等流を仮定した**流量～水位関係**から、洪水到達時間内降雨強度～三雲公民館前水位の関係図を作成。



【降雨観測結果と三雲公民館前水位観測結果】

【降雨強度と三雲公民館前水位関係図】

実績と関係式は概ね良好に一致している。
今後データを蓄積するとともに簡易予測等につなげていく予定

三雲地区でのH27年度の取り組み状況2

簡易量水標の設置(荒川)



設置状況(荒川:三雲公民館前)

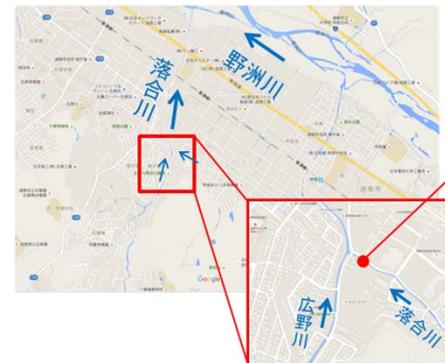
外水氾濫の危険性を認識しやすくするために、地域住民が日頃パトロールする箇所を中心に簡易量水標の設置を進めている。三雲地区では、今年度は荒川(三雲公民館前)の1箇所を設置。



簡易量水標設置位置(Google Map)

柑子袋地区でのH27年度の取り組み状況

簡易量水標の設置(落合川)



簡易量水標設置位置(Google Map)

三雲地区と同様に、柑子袋地区では、今年度は落合川(広野川合流点)の1箇所を設置。



設置状況(落合川:広野川合流点)

出前講座の開催(平成27年5月10日)



湖南省柑子袋区「平成27年度ふるさと防災チーム結隊式」にて防災出前講座を実施

- 【内容】
- 平成25年台風18号時の状況
 - 「流域治水」について
 - 他地域での取り組みの紹介